

青年部

2010年始動!

青年部副部長 竹鼻裕司

昨年4月の総会より中島代表を中心とした新体制になり、10ヶ月が過ぎようとしています。坂城町商工会員の皆様には日頃、青年部活動にご理解、ご協力頂き誠にありがとうございます。さて、新体制になり、恒例の行事に加え、新しい事にもチャレンジしました。その中のひとつが、「第9回A・B・NふるさとCM大賞」参加です。CM作りという今までに無い分野に挑戦しました。

まず、斉藤制作課長の下、CM製作課を立ち上げ、アイデアを出し合いました。過去の坂城町の作品では、名産品や観光的なCMが作られていましたが、今回は「工業の町としての坂城町」をアピールするCMを作ることになりました。身近に工場があり親の仕事の子供たちが目にすることも多く、そんな風景を表現しようという事になりました。撮影、編集、全て部員が行い、プロ顔負けのすばらしい作品が出来



上がりしました。そして、第一次審査を通過し、見事TV出演が決定しました。TV出演用のプレゼンの練習をみっちり行い、本番を迎えました。本番では、想定外のこともありましたが、なんと！優秀賞(八十二銀行賞)を受賞することが出来ました。結果はもちろんですが、新しい事にチャレンジして良かったと思います。このCMは、年間50回A・B・N長野朝日放送で放映されますので、機会がありましたらご覧下さい。

また、恒例行事としては、37回目を迎えた年末チャリティーを行いました。内山委員長、富田副委員長が中心となり、あいにくの雪の天気でしたが、部員全員が力を合わせ、大成功のうちにと終わらせることが出来ました。ご協力頂いた女性部他、皆様ありがとうございました。

昨年は、年末チャリティーの売上げで南条小学校に寄付をさせて頂きました。今年も坂城町の明日を担う子供達の為に寄付を予定しています。今後とも坂城町商工会青年部をよろしくお願いたします。

女性部

女性部副部長 清水路子

滝沢部長の下、新体制で発足した女性部の活動も終盤を迎えました。まずは青年部主催年末チャリティーのお手伝いです。大晦日の夜ありったけ着込んで馳せ参じた精鋭六人、息もびつたり掛けそばの定位置につきます。その手早いこと、お客様に代金をいただく前におそばが出来上がります。冷え込みがきつく小雪の舞う生憎のお天気でしたが大勢の皆様にお出かけいただき大盛況で和気藹々のうちに新しい年を迎えました。

あつという間にお正月も終わり次は恒例の研修旅行です。今年は熱海・山梨の旅でした。まず、朝霧高原で富士花鳥園の見学。見たこともない色とりどりの超大輪のペゴニアの数々。天井から垂れ下がるフクシア。日日草。しだに圧倒されました。音もなく飛ぶフクロウの飛行ショーも珍しく楽しいものでした。いよいよ熱海です。梅園の梅はまだ三分咲きでしたが、門前のあたま桜は満開で濃い目のピンクで一行を迎えてくれました。お宿は



「熱海金城館」お風呂を堪能しあとはお楽しみ大宴会。翌日は、河口湖近くの久保田一竹美術館へ。「幻の辻が花」染めと絞りの芸術の殿堂です。一目見ただけでその色彩の迫力と豪華さに圧倒させられます。はかり知れない絞っては染め、染めては絞るその精緻な手技の見事さは息を飲む美しさです。いつまでも見たい。そんな美術館でした。



美術館作品展示室



一年中満開を続ける極大輪のペゴニア

その後フレンチの昼食(ワイン付き)ワイン工場見学で行程を終えました。花に酔い美に酔い美酒に酔った楽しい旅行でした。次回は皆様ぜひ一緒に。

編集後記

会社の、私の席から千曲川が見える。太古の昔からこの川はあるのだろうか台風や大雨のたびにその流れは変わっているのだ。本流が変わり、今まで流れていたところが水溜りになっている。

昨年の大恐慌はひどかった。その傷跡は深刻なもので、いまだに経営者や店主はもがき苦しんでいる。流れが変わったことに気づく。私達はまだ、新しい流れを見つけられないでいるのかもしれない。しかし、もうしばらくの辛抱だ。必ず見つかることを確信している。なぜなら、「千曲川」はそこにあるのだから。(関戸)

広報編集委員会

- 委員長 関戸 啓司
- 副委員長 入部 和夫
- 委員 池田 尚弘
- 佐藤 洋子
- 中島 新一
- 滝澤 洋子
- 宮下 智彦